

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	家電量販店（副 店長）	来客数の動き	・特別定額給付金の給付と気温の上昇に伴い来客数が増加し、売上も増加している。
	○	商店街（事務局 長）	販売量の動き	・政府による種々の経済的支援が遅ればせながら届き始めたことと、新型コロナウイルスの猛威が国内では一旦沈静化に向かっていることから、少しずつ経済活動が活性化し、消費に明るさがみえる業種も出始めている。
	○	商店街（代表 者）	来客数の動き	・6月に入り、四国内では新たな新型コロナウイルスの感染が発生していないこともあり、かなり来客数が戻ってきている。県をまたいだ移動自粛も解除となった土日は、かなりの人出でにぎわっているが、夜の街は依然として飲食業を中心に厳しい状況である。
	○	一般小売店〔生 花〕（経営者）	お客様の様子	・全く人通りがなかった繁華街に少しずつ来客数が戻ってきている。まだ必要最小限の商品のみ購入する客が多いが、送別会などで居酒屋を利用する客も増加してきている。
	○	百貨店（営業管 理担当）	お客様の様子	・来客数は依然として少ないものの、休業期間の反動と特別定額給付金の効果で客単価と買上率は上昇しており、売上は若干の回復傾向となっている。
	○	スーパー（店 長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されて以降、家庭内食材料や衛生用品の販売点数が増加し、売上高が前年を上回る状態が継続している。
	○	スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・来客数は減少しているが、単籠り消費の影響で買上点数が増加し、客単価が上昇している。
	○	衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・3～4月は相当厳しい状態が続いたが、5月の中旬頃から6月一杯まで来客数が増加し続けており、景気の回復を感じている。
	○	衣料品専門店 （営業責任者）	販売量の動き	・前月までと比較すると来客数は戻りつつあり、セールの前倒しもあって、売上は前年並みに推移している。しかしながら、セールの効果がなければ、まだまだ厳しい状況である。
	○	乗用車販売業 （営業担当）	来客数の動き	・しばらく県内で新たな新型コロナウイルスの感染がないため、来客数が増加している。
	○	乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・店頭への来客数が増加しており、新型車に対する関心度も高まっている。
	○	その他専門店 〔酒〕（経営 者）	来客数の動き	・外出自粛の影響で、家で酒を飲む人が増加していると感じる。
	○	その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）	来客数の動き	・来客数は徐々に増加してきており、3か月前に比べると最悪期は過ぎたようであるが、前年比では7～8割程度の状況である。
	○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス関連の規制が緩和され、来客数が増えつつある。
	○	その他飲食 〔ファースト フード〕（経営 者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が収束しつつあり、来客数が少しずつだが回復傾向にある。
	○	タクシー運転手	お客様の様子	・2～3か月前と比較すると、週末は来客数が1～2割増加しているが、全体的には厳しい状態が続いている。当市でもタクシー会社2社が廃業に追い込まれた。
	○	競輪競馬（マ ネージャー）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる営業自粛が解除になり、消費者の行動も活発化し始め、少しずつ経済活動が戻ってきている。感染の第2波を警戒しながらも景気は回復傾向にある。
	○	美容室（経営 者）	お客様の様子	・今まで自粛していた客に動きが出てきた。
	○	設計事務所（所 長）	来客数の動き	・営業での来客数が、前月よりも大幅に増加した。
	□	百貨店（企画担 当）	来客数の動き	・来客数が若干増加傾向にあり、景気は最悪の事態を脱したように思われるが、まだまだ厳しい状態が続いている。

	□	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・自粛解除後も依然として内食需要は高まっており、来客数と売上が前年と比べ増加傾向のまま推移している。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が減少したままの状態が続いている。
	□	コンビニ（総務）	来客数の動き	・6月から外出自粛解除や学校再開、企業の本格稼働などで前月より売上は回復している。
	□	家電量販店（店員）	販売量の動き	・特別定額給付金で購入に走る人と今後を見据えて買い控える人が半々の状況で全体としては変わらない。
	□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注件数は持ち直しつつあるが、販売台数の回復は遅れている。
	▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・3～5月に比べれば明らかに来客数と売上が増加しており、特別定額給付金の効果を実感している。しかし、依然として厳しい状況は続いており、今後も回復傾向が続くかは不明である。
	▲	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、依然として買い控えをする客が多く、来客数が伸びない。
	▲	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ているが、さほど大きなダメージは受けていない。
	▲	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されても人の動きは戻っていない。また、新しい生活様式自体が楽しいものではないので、金を払ってまでサービス業を利用しない人が多い。
	▲	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で年内の新規受注が全くない。その上半内の修学旅行を中止する学校も増えている。
	▲	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・来客数、販売数共に前年比9割程度まで回復している。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・現時点では前年同様の売上には全く達しておらず、景気及び消費動向は上向いていないと感じる。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・人々の消費行動や生活様式が大きく変化する可能性が高い。実在店舗が新たな消費行動に対応すべく努力しても、ますますネットショッピングを利用する客は増加し、過剰店舗の大整理が始まる。
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で取材ができないなどの理由で、雑誌の発売中止や延期が続いている。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、外出自粛や繁華街への外出自粛がまだまだ尾を引いており、業務用主体の販売では売上の回復が難しい状況である。
	×	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数は依然として多いが、新型コロナウイルス関連による特需は一段落したように感じる。
	×	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型車のイベントでも来客数が伸びない状況にある。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・外出規制は緩和されたが、抜本的な解決策がないため、依然として来客数は伸びない。
	×	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが一段落するまで、ホテル、旅館、飲食業は厳しい状況が続く。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物は、冬春作から夏秋作に産地が切り替わる時期であることに加え、梅雨の影響もあり市場入荷が少なめであるため、卸売価格は堅調に推移している。業務用品目の引き合いは、やや改善するも前年と比較すると低調である。花きは、引き続き厳しい状況が続いている。
	○	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・外食やレジャー施設等からの発注が少しずつ増加してきている。
	○	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は、取引先小売店がほぼ休業していたため、受注数が前年比で50%弱となった。6月に入り、小売店がおおむね開店したため受注数は回復しつつあるが、来客数の戻りは鈍く、インバウンド中心の小売店は相変わらず厳しい状況である。6月の売上高は、自社ネット販売が大きく伸びたことにより、前年比90%強まで回復している。

	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・県内外の行き来ができるようになって、にわかに活気付いているという印象を受ける。既に受注数も回復しつつあり、新型コロナウイルスの影響の収束を感じる。
	□	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による需要減少は3月から発生したが、当社の受注ベースではタイムラグがあるため5～6月が底になっている。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業の発注は予定どおりに進められており、受注機会にも大きな変化はない。しかし、新型コロナウイルスの影響で協議や現地立入り等が制限されることによる工程延ばりや、テレワークによる生産性への影響が懸念される。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、民間への営業活動の不足が響き、受注が伸びない状態である。
	□	税理士事務所	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響を引き続き受けており、顧問先の売上は増加していない。
	▲	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・経済活動の制約により受注量が減少した本州の同業者が、輸送の外注を取りやめ、不採算であっても自社車両で四国まで荷物を輸送する事例が増加しつつある。本州の同業者にとっても苦渋の選択だと思うが、本州の同業者が外注する輸送案件を帰りの荷物として期待していた四国の事業者にとって深刻な問題となっている。
	×	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注数が減少しており、回復の見込みがない状態が続いている。
	×	鉄鋼業（総務部長）	取引先の様子	・取引先の主力造船会社からは1年先まで受注を確保できているが、新型コロナウイルスの影響はその後に表れると懸念している。その他の産業機械等の取引先は海外との営業活動が完全にストップしており、当社への受注も減少している。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響もあって、海外工場の一時閉鎖や時短勤務、海外での受注や売上の一部に延期の動きがある。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・休業する取引先が多く、厳しい状況が続いている。
	×	輸送業（経理）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により国内物流の動きが鈍化している。取引先荷主の需要減少や販売不振により在庫過多となり、製造等の供給側も低調な動きが続いている。また、農作物の豊作による値崩れを調整するための作付面積の削減や生産調整の影響も懸念される。
	×	金融業（副支店長）	取引先の様子	・4月以降の試算表に新型コロナウイルスの影響が実数となって表出しており、取引先の大部分は売上が激減している。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(四国)	□	人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・依然として、新型コロナウイルスの感染拡大が雇用や採用に大きく影響している状況が続いている。従来型の合同説明会が中止になり、面接はオンラインで実施しているが、来春の採用活動も先行き不透明であり、当初採用予定人員は減少傾向にある。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣の依頼件数が4月以降激減している。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの影響により生産現場での人材需要が激減している。
	×	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・飲食、サービス、観光に関連する企業は、この3か月ほど正常に稼働できていないため、事業の継続が難しそうな中小企業が多く見受けられる。追加融資等を受けられたとしても返済の見通しが立たないためその足を踏んでいる企業も散見される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、広告業界、特にイベント部門の売上が大きく落ち込んでいる。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・一般求人及び高卒の求人件数が減少している。

×	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月の有効求人倍率は1.16倍で3か月前と比較して大幅に減少しており、前年同月と比較しても減少となっている。新型コロナウイルスの感染拡大による影響で事業所閉鎖や事業縮小等による人員整理を実施する事業所が出てきている。
×	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス関連の緊急事態宣言が解除されたが、県内の観光地に以前のようなにぎわいは一向に戻ってこない。まだまだ新型コロナウイルスにおびえている国民の様子が見え、先行きは不透明である。